

睡眠遠隔医療分科会・SIG Sleep Telemedicine

分科会長 千葉 伸太郎

太田睡眠科学センター

1. 分科会設立の目的

ICT を活用し、睡眠医療の診断及び治療全般のレベル向上を図り、僻地・海外を始めとする対面診療が困難な状況における遠隔医療のあり方について検討および提言を行う。

2. 分科会メンバー数 4人

3. 令和4（2022）年度の活動の実績と成果

2022年10月に開催された遠隔医療学会では、睡眠遠隔医療分科会として「D to D ネットワーク構築による総合的な治療戦略における個別化診療の有用性」を議論するため、下記の発表を行った。

- ・千葉伸太郎
- ・富田康弘「医療連携 SNS を利用した D to D ネットワーク」
- ・吉嶺裕之「睡眠医療における初診からのオンライン診療」
- ・上野太郎「デジタル技術を活用した持続可能な医療」

4. 令和5（2023）年度の活動の目標と計画

SAS の CPAP 治療における遠隔モニタリングが一般的に利用されるようになり、モニタリング情報を活用したオンライン診療の課題と問題点を整理し、オンライン診療が広く実施できる体制を構築するための情報発信を行う。

また、CPAP の遠隔モニタリングに加えて、これからは睡眠計測や睡眠の管理におけるアプリの活用事例が増えてくることが予想され、デジタルツールを臨床現場で利活用することを促進するために、SAS を含めた睡眠に関するオンライン問診の標準化を目指す。

分科会長連絡先：s.chiba3387@gmail.com